

# 琴平町地球温暖化対策実行計画 平成 26 年度実施状況報告(概要)

平成27 年9月

「琴平町地球温暖化対策実行計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に準じ、琴平町が平成 23 年度に地球温暖化の主要因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の発生抑制を目的として策定したものです。本町は、計画を基に率先して環境に配慮した事務・事業を推進すると共に、本報告で計画の取組状況について公表するものです。

## 1. 実行計画の概要

- ✓ 基準年:平成 22 年度
- ✓ 実行計画期間:平成 24 年度 ~ 平成 28 年度
- ✓ 実行計画の対象範囲:本町の管理する事務及び事業
- ✓ 調査対象ガス:二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)
- ✓ 基準年の温室効果ガス排出量(基準排出量):673 t-CO<sub>2</sub>
- ✓ 削減目標:基準排出量に対し 3.6%(24 t-CO<sub>2</sub>)以上削減

## 2. 平成 26 年度 実行計画実施状況

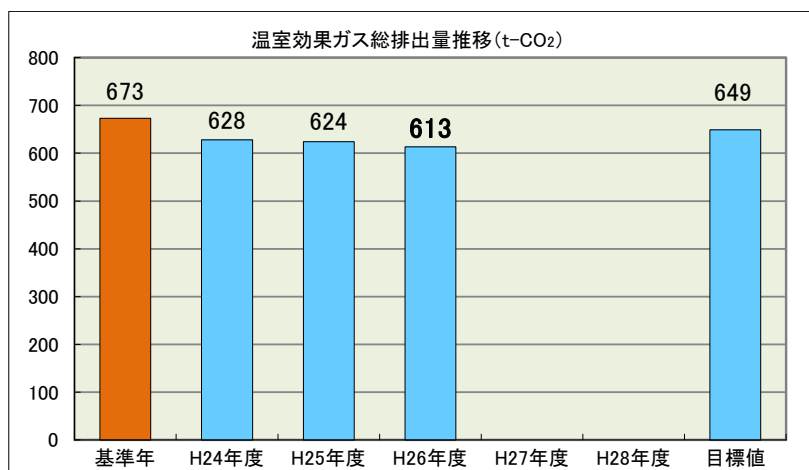
### (1) 温室効果ガス排出量算定の概要

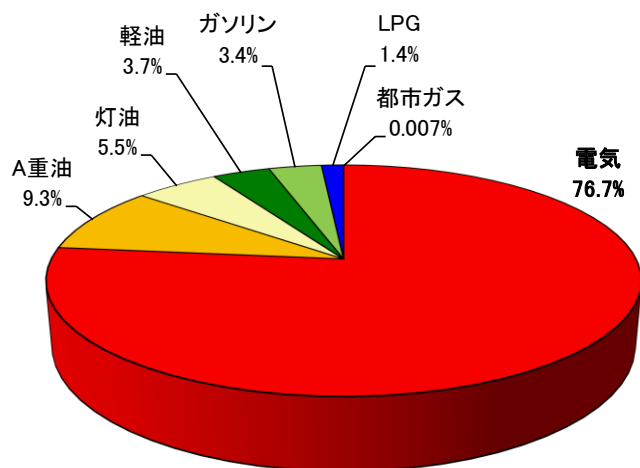
- ✓ 温室効果ガス排出量は、「活動量」(電気、燃料などの使用量)に、「排出係数」(電気や燃料など個別に設けられた係数)をかけて求めます。
- ✓ 「排出係数」は下記の理由により、基準年と同一の係数を使用します。
  - 温室効果ガス排出量の増減には、排出係数の増減が影響するため。
  - 職員の取組状況把握のため、実行計画の管理には活動量の変化のみ考慮した排出量で評価するため。

### (2) 温室効果ガス排出量推移及び排出源構成

- ✓ **平成 26 年度温室効果ガス排出量 : 613 トン(8.9%減少)**

本町における温室効果ガス排出量は平成 26 年度には 613 t-CO<sub>2</sub>となり、基準排出量(673 t-CO<sub>2</sub>)に対して、8.9%(60t-CO<sub>2</sub>)減少しています。なお、排出源構成では、電気使用に伴う排出量が全体の 76.7%を占めています。





注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

### (3) 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

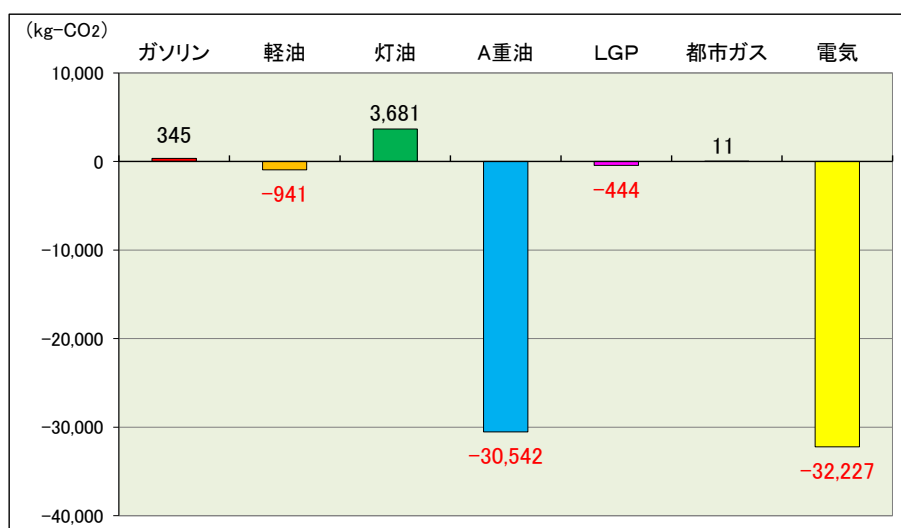
排出源別では、軽油、A 重油、LPG 及び電気使用に伴う排出量は基準年比で減少したのに対し、ガソリン、灯油、都市ガス使用に伴う排出量は基準年比で増加しています。

温室効果ガス全体の排出量の減少には、電気と A 重油使用量の減少が影響しています。

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

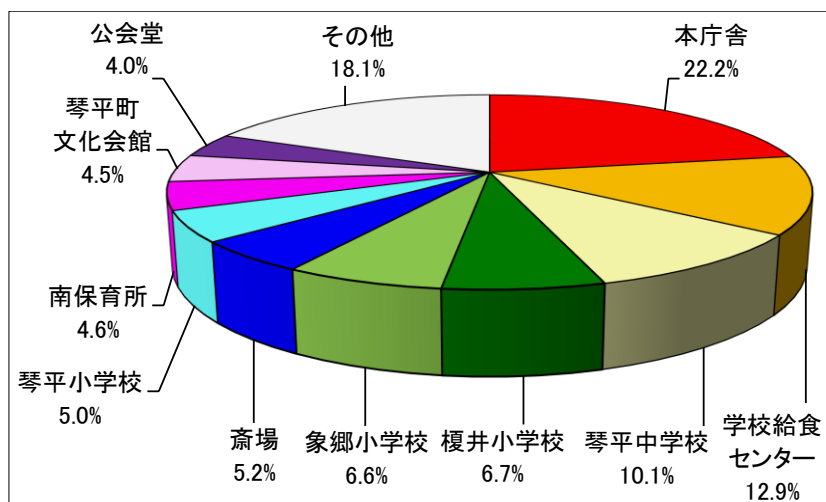
項目	平成22年度 (基準年)	平成24年度		平成25年度		平成26年度			
	排出量	排出量	基準年 対比	排出量	基準年 対比	排出量	前年度 対比	基準年 対比	
燃料	ガソリン	20,687	20,438	-1.2%	21,123	2.1%	21,032	-0.4%	1.7%
	軽油	23,815	23,505	-1.3%	23,196	-2.6%	22,874	-1.4%	-4.0%
	灯油	29,729	31,999	7.6%	36,302	22.1%	33,410	-8.0%	12.4%
	A重油	87,452	77,121	-11.8%	67,208	-23.1%	56,910	-15.3%	-34.9%
	LPG	9,219	8,772	-4.9%	8,859	-3.9%	8,775	-1.0%	-4.8%
	都市ガス※	30	25	-15.4%	34	15.4%	41	20.0%	38.5%
電気	502,181	465,921	-7.2%	467,661	-6.9%	469,954	0.5%	-6.4%	
温室効果ガス全体	673,112	627,781	-6.7%	624,384	-7.2%	612,995	-1.8%	-8.9%	

※ 平成 25 年度実績調査におけるデータ精査の結果、基準年及び平成 24 年度の都市ガスの排出量を見直しています。



#### (4) 施設別温室効果ガス排出構成

平成26年度の施設別の温室効果ガス排出構成では、本庁舎の排出量が全体の22.2%を占めており、以下学校給食センター(12.9%)、琴平中学校(10.1%)等が続いています。



注)構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合があります。

#### (5) 施設別温室効果ガス増減状況

施設別の温室効果ガス排出量について、基準年に対して排出量が減少した施設は17施設(25施設中)となり、排出量は合計で約90 t-CO<sub>2</sub>減少しています。排出量減少の要因としては、本庁舎、総合センターにおける電気使用に伴う排出量の減少、学校給食センター、象郷小学校におけるA重油使用に伴う排出量の減少が挙げられます。

一方、基準年に対して排出量が増加した施設は8施設(25施設中)となり、排出量は合計で約29 t-CO<sub>2</sub>増加しています。排出量増加の主要因としては、公会堂における電気使用に伴う排出量の増加が挙げられます。

#### 排出量が減少した施設

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

課・施設	平成22年度 (基準年)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度 減少量	対基準年 減少量
1 本庁舎	169,114	139,282	139,802	136,200	-3,602	-32,914
2 学校給食センター	100,075	88,510	86,369	79,087	-7,282	-20,988
3 総合センター	37,485	25,698	24,512	23,271	-1,240	-14,213
4 琴平小学校	38,797	34,276	30,363	30,911	548	-7,887
5 南保育所	31,898	36,061	33,053	28,441	-4,612	-3,457
6 琴平町文化会館	30,593	29,141	28,611	27,783	-828	-2,810
7 北保育所	20,966	21,480	22,342	19,038	-3,304	-1,929
8 琴平児童館	2,162	980	1,099	1,040	-59	-1,122
9 北幼稚園	5,350	4,148	4,590	4,345	-245	-1,005
10 教育集会所	4,357	3,883	3,840	3,527	-313	-830
11 デイサービスセンター	5,512	6,057	5,838	4,727	-1,111	-786
12 苗田児童館	3,531	2,734	2,739	2,866	127	-664
13 生涯教育課(教育委員会)	8,359	7,845	8,659	7,891	-768	-468
14 象郷農業構造改善センター	7,009	7,325	6,908	6,818	-90	-191
15 榎井公民館	4,906	4,899	4,850	4,722	-128	-184
16 斎場	31,648	31,405	34,175	31,574	-2,602	-74
17 ゆうあいの家	1,344	1,372	1,369	1,344	-25.6	-0.4
合計	503,107	445,095	439,120	413,584	-25,535	-89,523

排出量が増加した施設

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

課・施設	平成22年度 (基準年)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度 増加量	対基準年 増加量
1 公会堂	10,558	14,380	18,039	24,390	6,350	13,832
2 榎井小学校	35,492	38,292	41,183	40,973	-210	5,481
3 琴平中学校	58,102	60,740	56,197	62,189	5,992	4,087
4 象郷小学校	37,931	40,262	40,106	40,733	627	2,803
5 南幼稚園	4,576	5,010	4,766	6,109	1,343	1,533
6 旧金毘羅大芝居	11,086	11,703	12,076	11,875	-200	789
7 ACTことひら	10,961	11,170	11,541	11,709	168	748
8 象郷会館	1,300	1,129	1,356	1,432	76	133
合計	170,005	182,686	185,265	199,411	14,146	29,406

(6) 今後の課題

本町の排出構成としては、電気使用に伴う排出量が全体の約 77%を占めており、電気使用の削減は本町の温室効果ガス削減のために重要であること、また、電気使用に伴う排出量が前年度比で 0.5%増加していることから、今後も継続して以下の事項を取組上の重点課題とします。

- ✓ 職員に対して電気に係る取組(空調・OA 機器・照明)の一層の強化を図ること、また、高効率な機器への更新や適切なメンテナンスの実施により、エネルギー効率の向上を図っていくことを重点課題とします。

3. 琴平町の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量(実排出量)

- ✓ 平成 26 年度温室効果ガス排出量(実排出量) : 950 トン(41.2%増加)

東日本大震災後の原発稼働率低下の影響により、電気事業者(四国電力)の電気の排出係数が基準年比約 172%(四国電力:0.407kg-CO<sub>2</sub>/kWh(基準年)⇒ 0.699kg-CO<sub>2</sub>/kWh(平成 26 年度))となったことで、琴平町のエネルギー使用量は減少したものの、実排出量は増加する結果となっています。

年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準年 対比
基準年	673	0.0%
H24年度	963	43.1%
H25年度	961	42.8%
H26年度	950	41.2%
H27年度		
H28年度		

